

(財) 財務会計基準機構会員



平成20年12月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年10月30日

上場会社名 株式会社電算システム

上場取引所 東証第二部・名証第二部

コード番号 3630

URL <http://www.densan-s.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮地 正直

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 町田 孝道 TEL (058) 279-3456 (代表)

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年12月期第3四半期の連結業績 (平成20年1月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年12月期第3四半期	12,056	—	685	—	672	—	361	—
19年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
19年12月期	16,099	—	841	—	861	—	394	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年12月期第3四半期	97	07	—	—
19年12月期第3四半期	—	—	—	—
19年12月期	539	03	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
20年12月期第3四半期	13,881		4,116		29.7		1,106	48
19年12月期第3四半期	—		—		—		—	—
19年12月期	16,686		3,828		22.9		5,145	43

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年12月期第3四半期	623		△82		△91		1,509	
19年12月期第3四半期	—		—		—		—	
19年12月期	277		△274		373		1,060	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	中間期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
19年12月期	—	—	95	00	95	00
20年12月期	—	—	22 00		22 00	
20年12月期(予想)						

3. 平成20年12月期の連結業績予想(平成20年1月1日～平成20年12月31日)【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	17,710	10.0	1,101	31.0	1,005	16.7	572	45.2	148	04

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

① 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。
② 当社は、第3四半期の開示を当期より行っているため、前第3四半期の実績及び増減率については記載していません。
③ 平成20年3月4日付をもって、普通株式1株につき5株の割合で株式分割しております。そのため、前連結会計年度に係る1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産は、当該株式分割が行われる前の数値で表示しております。
④ 1株当たり予想当期純利益については、新規上場に伴う公募株式数900,000株を考慮した期中平均発行済株式数3,870,000株により算定しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、米国発の金融市場の混乱による株安・円高などにより、企業の業績悪化や消費の減退、輸出の落ち込みが顕著となりつつあり、景気後退感が強まっております。

情報産業界におきましても、民間企業の設備投資及び公共投資の減少傾向が進み、さらには同業他社との価格競争や技術者不足もあって、一層の厳しい状況となっております。

このような経営環境のもと、当社グループは、情報サービス事業においては、郵便局ふるさと小包関係の入力・ラベル印刷等の業務及び自動車税納税通知書の作成業務等が拡大すると共に、首都圏での大手既存顧客の開発案件や金融系のシステム再開発業務等が順調に推移いたしました。

また、収納代行サービス事業についても、コンビニ収納代行サービスを中心に新規顧客の獲得に努めた結果、底堅く推移いたしました。

これらの結果、当第3四半期の連結売上高は120億56百万円となりました。利益面においては、営業利益が6億85百万円、経常利益は6億72百万円となりました。さらに、特別損益に投資有価証券評価損19百万円計上したことなどにより、税金等調整前四半期純利益は6億53百万円となり、四半期純利益は3億61百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末と比較して28億5百万円減少し、138億81百万円となりました。これは主に、収納代行預り金の減少に伴う現金及び預金の減少20億88百万円、受取手形及び売掛金の減少8億84百万円などによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して30億92百万円減少し、97億65百万円となりました。これは主に、買掛金の減少4億49百万円、収納代行預り金の減少25億37百万円などによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して2億87百万円増加し、41億16百万円となりました。これは、利益剰余金の増加2億90百万円などによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、主として営業活動によるキャッシュ・フローが6億23百万円となったことが寄与し、15億9百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は6億23百万円となりました。これは主に、仕入債務の減少4億49百万円、法人税等の支払額4億16百万円等により減少したものの、税金等調整前四半期純利益6億53百万円、売上債権の減少8億84百万円、賞与引当金の増加2億70百万円などにより増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は82百万円となりました。これは主に、ソフトウェア等の無形固定資産の取得65百万円、有形固定資産の取得29百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は91百万円となりました。これは主に、配当金の支払い70百万円、短期借入金の純減少15百万円などによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済の見通しにつきましては、株安・円高による消費の減退や企業収益の悪化により、景気後退がさらに進むものと思われま

す。このような状況下、当社グループといたしましては、引き続き、各事業における業績向上を目指し、提案型営業に注力し既存顧客の深耕を図ると共に、納期・採算管理などの充実・強化を図ってまいります。

(情報サービス事業)

情報サービス事業は、ユーザにおいて開発案件の先送りやシステム運用費用・保守費用の削減など、厳しい状況にありますが、企画、システム導入開発、保守などサービスの多様性や、実績に裏付けられた信頼性及び費用対効果の高さなど、当社の強みをお客様に積極的にアピールすることにより、受注の増大を図ってまいります。

また、生産体制面については、SAP技術者などの人材確保と育成を行うと共に、引き続き、プロジェクト・マネジメントの強化により納期遅延及び赤字プロジェクトの防止を図りつつ、業績の堅持に努めてまいります。

(収納代行サービス事業)

収納代行サービス事業は、常に新しい便利な収納サービスの出現が予想されるなど、予断を許さない状況にありますが、受注の増大に繋げるためのホームページのリニューアルや他社連携の強化による営業協力活動の推進、お客様との長期的な関係の構築を目指し、お客様単位のきめ細やかな商品・サービスの提供を図ってまいります。また、当社の信頼性向上を図るために、大手都市銀行と収納金管理信託契約を締結し、収納代行預り金の安全性を高めてまいります。

さらに、営業要員の増員、女性営業員の活用など営業力の強化を図ると共に、帳票電子化、業務処理システムのレベルアップ、契約関連手続きの見直しによる固定費の削減などを行い、業績の向上に努めてまいります。

以上により、通期の連結業績見通しは、売上高177億10百万円、営業利益11億1百万円、経常利益10億5百万円、当期純利益5億72百万円を見込んでおります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

引当金の計上基準及びその他影響額が僅少な項目につき、一部簡便的な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科目	当四半期末 (平成20年12月期 第3四半期末)		(参考)前期末 (平成19年12月期末)	
	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)				
I 流動資産				
1 現金及び預金	9,172,317		11,260,814	
2 受取手形及び売掛金	2,157,561		3,041,971	
3 たな卸資産	456,430		393,208	
4 前払費用	117,492		36,882	
5 繰延税金資産	143,995		54,186	
6 その他	115,556		119,895	
貸倒引当金	△ 2,020		△12,175	
流動資産合計	12,161,333	87.6	14,894,783	89.3
II 固定資産				
1 有形固定資産				
(1) 建物及び構築物	571,638		594,416	
(2) 土地	358,642		358,642	
(3) その他	106,197		115,496	
有形固定資産合計	1,036,477	7.5	1,068,555	6.4
2 無形固定資産				
(1) ソフトウェア	236,448		229,770	
(2) その他	70,927		75,878	
無形固定資産合計	307,376	2.2	305,649	1.8
3 投資その他の資産				
(1) 投資有価証券	86,700		121,536	
(2) 繰延税金資産	42,738		41,115	
(3) 差入保証金	223,058		232,430	
(4) その他	35,487		34,612	
貸倒引当金	△ 11,359		△11,845	
投資その他の資産合計	376,624	2.7	417,850	2.5
固定資産合計	1,720,478	12.4	1,792,055	10.7
資産合計	13,881,812	100.0	16,686,839	100.0

(単位：千円、%)

科目	当四半期末 (平成20年12月期 第3四半期末)		(参考)前期末 (平成19年12月期末)	
	金額	構成比	金額	構成比
(負債の部)				
I 流動負債				
1 買掛金	924,830		1,374,696	
2 短期借入金	195,000		210,000	
3 一年以内返済予定の 長期借入金	6,660		6,660	
4 未払法人税等	219,332		250,336	
5 収納代行預り金	7,663,103		10,200,774	
6 賞与引当金	270,365		—	
7 役員賞与引当金	—		23,240	
8 受注損失引当金	987		10,613	
9 その他	249,050		534,639	
流動負債合計	9,529,329	68.6	12,610,959	75.6
II 固定負債				
1 長期借入金	4,540		10,090	
2 退職給付引当金	—		10,548	
3 役員退職慰労引当金	165,360		156,240	
4 負ののれん	7,009		12,837	
5 その他	59,460		57,960	
固定負債合計	236,369	1.7	247,676	1.5
負債合計	9,765,699	70.3	12,858,636	77.1
(純資産の部)				
I 株主資本				
1 資本金	642,288	4.6	642,288	3.8
2 資本剰余金	342,144	2.5	342,144	2.1
3 利益剰余金	3,127,802	22.5	2,837,400	17.0
株主資本合計	4,112,234	29.6	3,821,832	22.9
II 評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金	3,878	0.1	6,370	0.0
評価・換算差額等合計	3,878	0.1	6,370	0.0
純資産合計	4,116,113	29.7	3,828,203	22.9
負債純資産合計	13,881,812	100.0	16,686,839	100.0

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科目	当四半期 (平成20年12月期 第3四半期)		(参考)前期 (平成19年12月期)	
	金額	百分比	金額	百分比
I 売上高	12,056,987	100.0	16,099,335	100.0
II 売上原価	9,744,276	80.8	13,298,427	82.6
売上総利益	2,312,710	19.2	2,800,907	17.4
III 販売費及び一般管理費	1,626,961	13.5	1,959,765	12.2
営業利益	685,749	5.7	841,141	5.2
IV 営業外収益	11,949	0.1	28,268	0.2
V 営業外費用	24,784	0.2	8,165	0.1
経常利益	672,914	5.6	861,245	5.3
VI 特別利益	4,958	0.0	—	—
VII 特別損失	24,085	0.2	113,518	0.7
税金等調整前四半期(当期)純利益	653,786	5.4	747,726	4.6
法人税、住民税及び事業税	382,361		351,949	
法人税等調整額	△ 89,656	2.4	1,121	2.2
四半期(当期)純利益	361,081	3.0	394,656	2.4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当四半期 (平成20年12月期 第3四半期)	(参考)前期 (平成19年12月期)
区分	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1 税金等調整前四半期(当期)純利益	653,786	747,726
2 減価償却費	126,079	130,472
3 減損損失	—	110,986
4 のれん償却額	4,699	6,266
5 負ののれん償却額	△5,827	△7,770
6 持分法による投資損益(△は利益)	2,211	△2,271
7 貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10,640	14,778
8 賞与引当金の増減額(△は減少)	270,365	—
9 役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△23,240	△685
10 受注損失引当金の増減額(△は減少)	△9,626	△5,047
11 退職給付引当金の増減額(△は減少)	△10,548	1,842
12 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,120	△24,080
13 受取利息及び受取配当金	△3,461	△2,746
14 支払利息	2,506	5,272
15 株式交付費	735	2,478
16 上場関連費用	19,016	—
17 固定資産売却損益(△は売却益)	—	559
18 固定資産除却損	1,200	1,473
19 投資有価証券売却損益(△は売却益)	3,515	—
20 投資有価証券評価損益(△は評価損)	19,370	—
22 売上債権の増減額(△は増加)	884,410	△887,142
23 たな卸資産の増減額(△は増加)	△63,221	39,431
24 仕入債務の増減額(△は減少)	△449,866	362,218
25 未払金の増減額(△は減少)	△96,204	32,004
26 その他	△285,141	△51,744
小計	1,039,239	474,020
27 利息及び配当金の受取額	3,461	2,746
28 利息の支払額	△2,665	△5,272
29 法人税等の支払額	△416,805	△194,426
営業活動によるキャッシュ・フロー	623,230	277,068
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1 有形固定資産の取得による支出	△29,182	△98,978
2 無形固定資産の取得による支出	△65,782	△161,477
3 投資有価証券の取得による支出	—	△23,270
4 投資有価証券の売却による収入	3,830	—
5 その他(純額)	8,308	9,435
投資活動によるキャッシュ・フロー	△82,826	△274,290
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1 短期借入金の純増減額(△は減少)	△15,000	△60,000
2 長期借入金の返済による支出	△5,550	△18,860
3 社債の償還による支出	—	△200,000
4 株式の発行による収入	—	681,953
5 配当金の支払額	△70,680	△30,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△91,230	373,093
IV 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	449,174	375,872
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,060,039	684,167
VI 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	1,509,214	1,060,039